

渡嘉敷島の気候 The climate of Tokashiki

	降水量	平均気温	最高気温	最低気温	海水温度 (那覇市)
	(mm)	(℃)	(℃)	(℃)	(℃)
1月	136.3	15.2	16.9	13.6	21.8
2月	149.5	15.0	16.8	13.4	21.6
3月	223.5	17.1	19.1	15.4	21.7
4月	228.8	19.4	21.3	17.7	22.6
5月	259.9	21.8	23.6	20.2	24.4
6月	201.5	24.7	26.5	23.3	26.4
7月	116.7	26.6	28.5	25.2	28.7
8月	208.8	26.4	28.3	25.0	29.0
9月	193.9	25.4	27.2	24.0	28.6
10月	140.7	23.0	24.7	21.5	26.6
11月	142.6	20.2	21.8	18.7	25.2
12月	108.2	16.9	18.6	15.5	23.7
年平均	175.8	21.0	22.8	19.5	25.0

沖縄気象台データより



海洋研修場（建志志久湾内）に棲息するハマクマノミとサンゴ



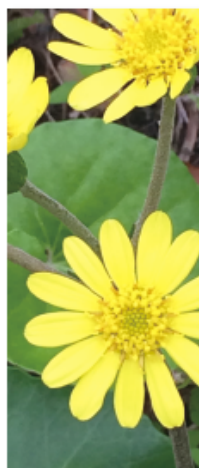
オキナワチドリ
Amifostigma lepidum

九州南部（宮崎県、鹿児島県）から沖縄にかけて分布し、海辺の岩場や山裾の斜面に生えます。環境省のレッドリスト(2007)では、「絶滅の危険が増大している種」である絶滅危惧Ⅱ類(VU)に登録されています。



サイヨウシャジン
Adenophora triphylla var.

海を見下ろす丘陵地で、釣り鐘のような可愛いうす紫の花が咲きます。生育地はもともと少なく、個体数が減少しています。環境省のレッドリストでは「準絶滅危惧」です。所内では、西展望台へいく道の斜面をはじめ、いたるところで見られます。



ツバブキ
Farugium japonicum

海岸や林道沿いに多く自生し、秋から冬に地際から長く花茎を伸ばして、キクに似た一重の黄色い花を毎年咲かせます。花後はタンポポの綿毛のようなタネができ、風に飛ばされて散っていきます。



リュウキュウコスミレ
Viola yadensis var. *pseudo-japonica*

沖縄県原産のスミレです。明るい庭先から山地路傍、草原などに生育する多年生の草本です。花期は冬から春（沖縄県地方）、日照を好み、数個の花を次々に咲かせます。長い葉柄を持ち、細長いハート形をしています。

国立沖縄青少年交流の家へのアクセス Access Map

空港ご利用の場合

県外19箇所、奄美・与論を含め離島より8箇所の空港から那覇空港発着便があります。その他の空港でも季節便が開通されることがあります。最寄りの空港をご利用いただき那覇空港へアクセスください。



那覇空港から泊港への交通案内

那覇空港（バス）→（約25分）泊高橋下車→（徒歩約1分）泊港
 那覇空港（タクシー）→（約15分）泊港
 那覇空港（モノレール）→（14分）美栄橋駅下車→（徒歩約10分）泊港

泊港から渡嘉敷港への船便の案内

泊港南岸から「フェリーとかしき」で約70分。
 泊港北岸から「マリンライナーとかしき」で約35分。
 なお、南岸と北岸の乗り場は約300m離れています。

※渡嘉敷港から国立沖縄青少年交流の家へは
 徒歩で約35分（約2.4km）またはバスで約5分。